

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科  | 言語聴覚士学科昼間部 |                 | 科 目 区 分  | 専門基礎分野          | 授業の方法                 | 講義            |
|--|------------|-----------------|--|-----------------|-----------------------|---------------|
| 科 目 名  | 小児科学       |                 | 必修/選択の別  | 必修              | 授業時数(単位数)             | 15 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年  | 2年生        |                 | 学期及び曜時限  | 後期 金曜3限         | 教室名                   | 第4校舎301       |
| 担 当 教 員  | 小川れい       | 実務経験と<br>その関連資格 |  |                 |                       |               |
| 《授業科目における学習内容》   |            |                 |  |                 |                       |               |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・胎児や小児の発達・成長について知識を深める。</li> <li>・小児期に特有の疾患とその病態生理メカニズムについて理解する。</li> </ul> |            |                 |  |                 |                       |               |
| 《成績評価の方法と基準》   |            |                 |  |                 |                       |               |
| 学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。   |            |                 |  |                 |                       |               |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》  |            |                 |  |                 |                       |               |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜資料を配布する。</li> <li>・参考図書:言語聴覚士のための基礎知識 小児科学・発達障害学 第3版</li> </ul>          |            |                 |  |                 |                       |               |
| 《授業外における学習方法》  |            |                 |  |                 |                       |               |
| 繰り返し、学習してってください。自宅で復習できなかった時は、授業開始前に数分でも良いので前回分の内容を振り返ってください。  |            |                 |  |                 |                       |               |
| 《履修に当たっての留意点》  |            |                 |  |                 |                       |               |
| 疾患や障がいを持った子どもへの関心を持ち、言語聴覚士としての専門性を身につけてください。   |            |                 |  |                 |                       |               |
| 授業の方法  | 内 容        |                 |  | 使用教材            | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容 |               |
| 第1回  | 講義形式       | 授業を通じての到達目標     | 小児の発達・成長についての基礎知識を習得する①                            | 資料配布<br>パワーポイント | 配布資料や参考書で該当箇所を復習する    |               |
|  |            | 各コマにおける授業予定     | 小児の体・脳をはじめとした各臓器の発達・成長についてと、発達の評価法について学ぶ。          |                 |                       |               |
| 第2回  | 講義形式       | 授業を通じての到達目標     | 遺伝疾患について理解し説明できる。                                  | 資料配布<br>パワーポイント | 配布資料や参考書で該当箇所を復習する    |               |
|  |            | 各コマにおける授業予定     | 染色体異常の代表的な遺伝子疾患について学ぶ。                             |                 |                       |               |
| 第3回  | 講義形式       | 授業を通じての到達目標     | 胎芽病・胎児期をはじめ、先天奇形の代表疾患について知識を深め説明できる。               | 資料配布<br>パワーポイント | 配布資料や参考書で該当箇所を復習する    |               |
|  |            | 各コマにおける授業予定     | 先天異常の中でも、先天奇形の発生要因となる胎芽病・胎児病をはじめ、代表的な奇形症候群について学ぶ。  |                 |                       |               |
| 第4回  | 講義形式       | 授業を通じての到達目標     | 先天代謝異常の代表疾患について理解し説明できる。<br>新生児マススクリーニングの対象疾患を知る。  | 資料配布<br>パワーポイント | 配布資料や参考書で該当箇所を復習する    |               |
|  |            | 各コマにおける授業予定     | 先天異常の中でも、先天代謝異常症の代表的な疾患と、新生児マススクリーニングについて学ぶ。       |                 |                       |               |
| 第5回  | 講義形式       | 授業を通じての到達目標     | 新生児疾患と新生児状態評価のアプガースコアについて、および周産期障害の原因と症状について説明できる。 | 資料配布<br>パワーポイント | 配布資料や参考書で該当箇所を復習する    |               |
|  |            | 各コマにおける授業予定     | 新生児疾患と新生児状態評価のアプガースコア、および周産期障害について学ぶ。              |                 |                       |               |

| 授業の方法 |      | 内 容         |  | 使用教材            | 授業以外での準備学習の具体的な内容  |
|-------|------|-------------|--|-----------------|--------------------|
| 第6回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 小児におこる神経系疾患について説明できる。                                      | 資料配布<br>パワーポイント | 配布資料や参考書で該当箇所を復習する |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 小児におこる神経系疾患(中枢神経系奇形やけいれん疾患など)について学ぶ。                       |                 |                    |
| 第7回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 小児におこる骨・筋疾患について理解し説明できる。                                   | 資料配布<br>パワーポイント | 配布資料や参考書で該当箇所を復習する |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 小児におこる骨・筋肉疾患(ギラン・バレー症候群などの末梢神経性疾患、筋ジストロフィーなどの筋疾患など)について学ぶ。 |                 |                    |
| 第8回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 小児の代表的感染症と、小児の死亡原因および被虐待児症候群について説明できる。                     | 資料配布<br>パワーポイント | 配布資料や参考書で該当箇所を復習する |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 感染症やそれに関する法律、小児の死亡原因および被虐待児症候群について学ぶ。                      |                 |                    |
| 第9回   |      | 授業を通じての到達目標 |  |                 |                    |
|       |      | 各コマにおける授業予定 |  |                 |                    |
| 第10回  |      | 授業を通じての到達目標 |  |                 |                    |
|       |      | 各コマにおける授業予定 |  |                 |                    |
| 第11回  |      | 授業を通じての到達目標 |  |                 |                    |
|       |      | 各コマにおける授業予定 |  |                 |                    |
| 第12回  |      | 授業を通じての到達目標 |  |                 |                    |
|       |      | 各コマにおける授業予定 |  |                 |                    |
| 第13回  |      | 授業を通じての到達目標 |  |                 |                    |
|       |      | 各コマにおける授業予定 |  |                 |                    |
| 第14回  |      | 授業を通じての到達目標 |  |                 |                    |
|       |      | 各コマにおける授業予定 |  |                 |                    |
| 第15回  |      | 授業を通じての到達目標 |  |                 |                    |
|       |      | 各コマにおける授業予定 |  |                 |                    |